

# 浜松を『光の先端都市』に ～浜松光宣言 2013～

国立大学法人 静岡大学

学長／伊東 幸宏

国立大学法人 浜松医科大学

学長／中村 達

学校法人 光産業創成大学院大学

学長／加藤 義章

浜松ホトニクス株式会社

代表取締役社長／晝馬 明

## 光科学と光産業

21世紀を通じて、光科学は発展し光産業は拡大し、人類にとって光がさらに重要な役割を担う「光の時代」に到達するだろう。

光には無限の可能性がある。そして、人類はまだ、そのほんの一部しか利用していない。

光の本質を解明すること、そして光を自在に操ること——人類のやむことなき挑戦は続く。

そしてこの挑戦こそ、光科学と光産業を共に発展させる駆動力である。

## 光科学と光産業と浜松

1926年、浜松の地にテレビジョンが生まれた。

20世紀の電子産業の興隆を導き、21世紀の光産業の先駆けとなった偉業である。

浜松にはその技術を継承した光産業が興り、光科学の研究が続けられ、社会の進展に大きな役割を果たした。

光に限界がないのなら、光の産業応用はまだまだ広がり人類の幸福に対しても、さらなる貢献をなすはずだ。

そうであるなら、テレビジョンが生まれて100年になろうとする今このとき、浜松には何ができるか？

# 光の尖端都市 HAMAMATSU に

浜松は、日本の政治の中心でも経済の中心でもない普通の地方都市である。

それでも、世界は「浜松 / HAMAMATSU」を知っている。注目している。なぜか？

光の産業応用に無限の可能性を見出し、光技術の極限に挑みつつける人々がいるからだ。

光を用いた研究や開発に多くの成果を挙げているさまざまな機関があるからだ。

だが、多くの問題をかかえる地球には人類には、「光」がもっと役立つはずであり、役立てなければならない。

われわれは、そのために、「浜松 / HAMAMATSU」に「新たな使命」を与え、実現したい。

——世界の俊英が、一度はそこで学び、研究・開発をしたいと思う「光の尖端都市 HAMAMATSU」に

——世界に役立つ新しい光科学、新しい光産業を創造する「光の尖端都市 HAMAMATSU」に

そこでは、光を識り、光を使うことが究められる。

そこでは、世界トップレベルの光の基礎 / 応用研究が行われる。

そこでは、世界が望む光製品 / 光技術が開発される。

そこでは、世界から、光の本質を解明し、光を自在に操ろうとする学生 / 研究者 / 医学者 / 技術者 / 市民 / 起業家 / 企業 / 大学 / 研究機関が集い、刺激しあう。

そこでは、これからの光応用産業発展の主役であるベンチャー企業や中小企業が活発に活動する。

そこでは、光の面白さ、光の無限の可能性を若い世代に向け、発信し、教育がなされる。

われわれ、国立大学法人 静岡大学、国立大学法人 浜松医科大学、学校法人 光産業創成大学院大学、浜松ホトニクス株式会社は、「光の尖端都市 HAMAMATSU」を創造していくために行なえることすべてに、密接に連携して取り組んでいくものである。

## 今後の活動方針

- 本「宣言」に謳う「光の尖端都市 HAMAMATSU」の実現を図る。
- この実現にあたり、主体的で積極的な活動を行う。
- 「光の尖端都市 HAMAMATSU」は、光の最先端の研究をめざし、世界と交流する。
- 「光の尖端都市 HAMAMATSU」は、光の産業化を恒に意識する。
- 「光の尖端都市 HAMAMATSU」は、ベンチャー企業等の迅速な動きに対応する支援を行う。
- 「光の尖端都市 HAMAMATSU」は、国や県市の施策との連動を図り、我が国の基礎研究 / 応用研究の進展、産業競争力の強化に貢献する。